

GW 首都圏も盛況

屋外型、天候不順で苦戦も

今年のゴールデンウィーク（GW）期間中の首都圏の主要観光地の集客はおおむね好調だった。平日を挟んで休みが分散されたことから、近場の旅行を避ける人も多かった。

展示の改装や暑さが客足に寄与した施設がある一方、屋外型では期間中の雨風が全体の集客に影響した例もあった。花を売り物にする施設では、見ごろの時期を巡って明暗が分かれた。

鴨川シーワールド（千葉県鴨川市）はGW期間中、前年比15%増の約6万7000人が訪れた。

鴨川シーワールド 改装効果15%増

としまえん 雨風響き4%減



羊山公園の芝桜はGW後半には見ごろを過ぎ客足に響いた（3日、埼玉県秩父市）

人気のシロイルカ「ベルーガ」の展示施設を3月にリニューアルした効果が出たほか、晴天で暑い日が多かったため「（見物客が）水を浴びるシャチのショーが人気を集めた」（担当者）という。

鉄道車両を展示している車両ステーションをGW直前に改装した鉄道博物館（さいたま市）は前年比9%増の約4万3000人が来館。天気に恵まれたGW初日は屋外型施設に客が流れて低調だったものの、後半は開館を早めるなどテコ入れ策が奏功して盛り返した。

首都圏の主な観光地のGW集客状況

集客増	鴨川シーワールド(千葉県鴨川市) 期間中の集客は15%増。改装したシロイルカの展示やシャチのショーが好評
	鉄道博物館(さいたま市) 来館者数は9%増。車両ステーションの改装や開館時間の延長などが奏功
	山のホテル(神奈川県箱根町) 庭園に咲くツツジやシャクナゲが見ごろを迎え、入園者が1万人超え。客室もほぼ満室に
集客減	羊山公園芝桜の丘(埼玉県秩父市) 期間中に芝桜が見ごろを過ぎてしまい、集客は53%減
	東京ドイツ村(千葉県袖ヶ浦市) 3日の悪天候が響き集客は5%減。フードコート売り上げは好調で客単価は増加

たが、入園者数は前年を3%上回った。小田急グループが運営する山のホテル（神奈川県箱根町）はツツジやシャクナゲが咲く庭園への入園者数が1、6日に1万人を超えた。今年は開花が例年より10日ほど早く、GW期間中に見ごろを迎えたのが幸いし、宿泊もほぼ満室の状態だった。福本光央支配人は「例年以上ににぎやかなGWだった」と声を弾ませる。これに対し、芝桜が見ごろを過ぎたことによる集客減が響き、期間中の入場者数は約5万7000人と前年を4%下回った。

後半初日となった3日の雨風に泣いた施設も多い。遊園地のとしまえん（東京・練馬）はお化け屋敷に仮想現実（VR）技術を取り入れたほか、ミニサイズの西武鉄道車両を運転できるアトラクションを導入したが、雨や強風による、3日の集客減が響き、期間中の入場者数は約5万7000人と前年を4%下回った。

東京ドイツ村（千葉県袖ヶ浦市）でも3日の悪天候が響き、期間中の集客は前年比5%減った。ただ今年から期間限定で設けたフードコートでは、暑さの影響もありソフトクリームなどの売れ行きが好調で「1人当たりの売上高は伸びた」（担当者）という。